



●北へ向かう動物たち

—生物の北上—

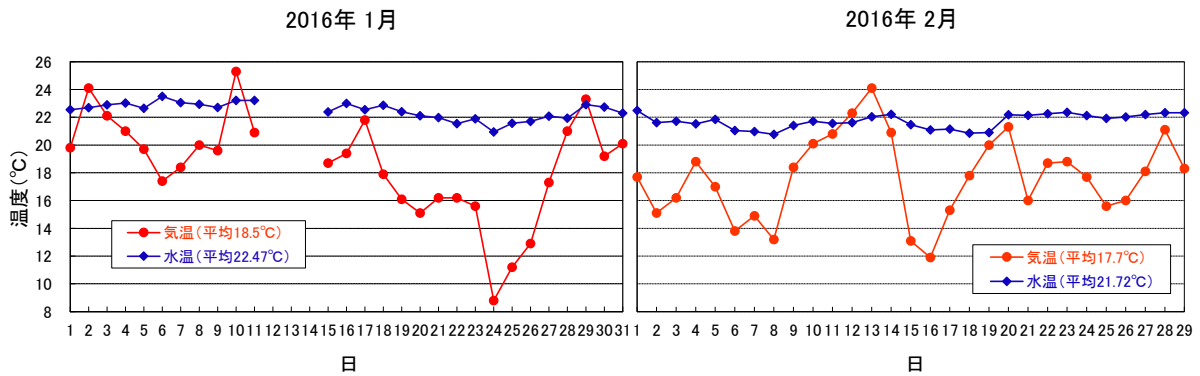
寒い冬です。ずっとというわけではありませんが、いつもに比べて、ずいぶんと冷え込む日がありました。研究所では、毎日気温を測定していますが、1日の最低気温の観測を始めた1991年4月14日以降、去年までで一番気温が低かったのは、2007年の1月7日と2月2日で、どちらも7.2℃でした。ところが、とうとう今年、この記録が塗り替えられる日がやってきました。1月24日の夜中のことです。みなさんも覚えていることと思いますが、沖縄で観測史上2番目の雪（みぞれですが）の日です。あの日は阿嘉島でもみぞれが降り、その夜中に気温は5.9℃まで下がったのでした。記録的な寒波といえます。けれど、この日でも海水温は21℃前後、水深3mより深いところでは21℃をこえていました。陸上とは、ずいぶん違っていたわけです。そして、この温かい海水は、沖縄周辺だけにあるのではなく、黒潮などによって北へと運ばれていきま

す。今回は、この南からの海流によって運ばれる動物についてお話します。

先月、「殺人ダコが北上中」というニュースが流れました。日本海岸で南方性の猛毒を持ったタコが相次いで発見されているというのです。そのタコは以前アムスルだよりでも紹介したヒョウモンダコ（No.116：冒頭の写真）で、その毒は青酸カリの850倍以上と言われますから、確かに危険です。どうやら、このタコが暖流（日本海側なので対馬暖流でしょう）にのって北上しているようなのです。これまでも、南の生き物が海流で北へ運ばれたことはたびたびあります。例えば、2001年には福岡から兵庫にかけて、ところによっては数千匹のハリセンボンが見られましたし（アムスルだよりNo.49）、同じように2007年にも島根や京都でハリセンボンが大量に見つかり話題になりました。近いところでは2009年から2013年にかけて、九州をはじめとして北海道を含む22の道府県でソウシハギが捕獲され、この魚も猛毒を持つため緊急の警告が出されました（No.125）。

毒をもった生き物が広い範囲に散らばることは、歓迎できることではありませんが、海がつながっていて流れがある限り、多少なりとも起こることですので、しょうがないといえば、しょうがないことでしょう。しかし、それが、北の海で定着するとなると話は変わってきます。

定点観測



実際に、たくさんの種類の海の生き物が南から北へと毎年流されていきます。神奈川県伊豆などでは、夏に見られる色とりどりの南方系の魚が季節の風物詩になるくらいです。けれども、これらの多くは、そこに定着することなく死んでしまいます。それは、北の海の冬の水温の冷たさに、南方系の生物が耐えられないからです。

ところが、近年、それらの中に、死亡せずに冬を越し、定着するものが出てきました。実は、ヒョウモンダコもその一つではないかと考えている人もいます。しかし、よく問題になっているのはアイゴ、そしてサンゴでしょう。アイゴもサンゴももともと九州付近にも生息しているので、沖縄から流れて行ったというわけではありませんが、そのあたりでも数が増え、さらにより北に分布を広げているようです。このことで問題になるのは、これらの動物が増えることによって、もともと生息していた生物が減ってしまい、生態系が変わってしまうことです。具体的には、アイゴは藻食性で群れをなして生活する魚ですから、大量に海藻を食べます。そして、サンゴは海底の空間を海藻と争う動物です。ですから、この2つの動物が増えることで、その場所では海藻がどんどん減ってしまい、海藻の間で暮らしていたメバルなどの動物や、海藻を食べていたアワビなどの動物も少なくなる、あるいはいなくなってしまうこと

になります。そして、その結果、そうした海藻とともに暮らす動物を獲って生活を営んでいた漁業者の人たちも大きな打撃を受けることになります。

こうした海の中の変化を受け入れるしかないのか、対策をとるべきかは、できるのかどうかも含めて難しい問題です。

人ごとではありません。海水温の上昇によって、慶良間の海も大きな影響を受けています。発表されている水温予想をみると、また今年もサンゴの白化の心配をしなくてはなりません。

● 阿嘉島の海より

3月5日のサンゴの日に、国立公園指定2周年を記念してビーチクリーンがおこなわれました。座間味村商工会青年部の主催でキリンビールマーケティング(株)沖縄支社の支援を受けて、座間味(古座間味)、阿嘉(ニシハマ)、慶留間(カキジリ)の3島で同時におこなわれ、参加者は合計208名にのぼったそうです。あいにく曇りがちな日でおまけに途中で小雨がぱらつきましたが、気温は温かく、配られたおそろいのオレンジ色のTシャツを着て、少し汗ばみながらゴミを集めました。みんなの頑張りのおかげで、それぞれのビーチはずいぶんきれいになりました。渡嘉敷でも阿波連ビーチで同時刻に実施されたようです。慶良間のために、こうした活動は、今後も続けていきたいものです。